

学力は二階建てになっている

＝通知表とJ3と学力＝

学力の1階

勉強ができるできないは、勉強する時間や勉強の方法ではなく、学力の1階部分ができる力があるかによって決まります。要は、1階がしっかりしなければ2階はしっかりしないということです。

学力の1階の一つ目です。勉強というのは、自分(生徒)がこの人(先生)から勉強を教えるもらうという素直な気持ちでこの人(先生)を受けいれなければ成りたちません。学力の1階の一つ目は、この先生と生徒の関係を踏まえられる力です(J4等)。

次は、勉強の場である授業は学級単位に行われます。学級の様子が良くなければ、授業の様子も良くなりません。学力の1階の二つ目は、この学級でルールが守られる、仲間(学級・班)を大切にする力です(クラスを見る窓等)。

学力の2階

普通、学力は「テストの点数＝知識量」と捉えられがちです。学力の中に占めるテストの点数や知識は重要です(学力の基礎・基本)。しかし、テストの点数や知識を確かなものにしていくためにも、その中味が大事になります。すなわち、知識は使って初めて役に立ちます(学力の活用)。そして、知識は使うことによってもっと勉強しようと思えるようになります(学力の学習意欲)。そんな勉強の仕方が大事になります。そしてそれは、テストを迎えるまでの日々の授業の場でこそ身につくものです。

西中学校の授業は、そんな「知識・技能を覚える(考える、習得する) → 知識・技能を使う(伝える・聴く)」→「知識・技能をより確かなものにする(ふりかえる)」という授業をしています。ぜひ、J3を骨組みにした授業(J4・目標→考える、伝える・聴く→ふりかえる)の中で、確かな勉強をして確かな学力(学習意欲、基礎・基本、活用)をつけてください。

そして、通知表ではJ3とつながりのある4観点(国語は5観点)の窓から、学力がどのように伸びているかを知ることができるようになっています。

右の学力MAPは、通知表とJ3と学力の関係を図で整理したものです。ボンヤリでもいいですから通知表とJ3と学力の関係を教えてください。そして、各教科の先生の観点別の説明や通知表の説明のなかでよりわかるようになってください。



学力を見る窓 (通知表)

2階の窓

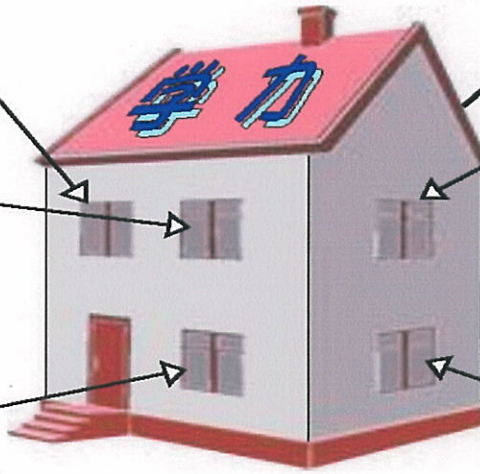
国語は
5観点です

思考・判断・表現

技能

関心・意欲・態度

知識・理解



1階の窓

先生と生徒
の関係を踏まえる力

儿-儿を守る力
仲間(学級・班)
を大切にする力

西中 学力MAP

知徳体の調和(生きる力)をめざし、
自分で課題を見つけ、自分で学び考え、仲間と力を合わせて課題を解決する力

通知表 <small>国語は 5観点です。</small>	J4・J3	学力		
思考・判断・表現	伝える・聴く	知識・技能を	活用する	使う
技能				
技能 知識・理解	考える	基礎・基本	の知識・技能を習得する	覚える
関心・意欲・態度	J4 目標 ふりがえる	学習意欲	を持つ	使おうとする
「学力の土台」 家庭・地域・小学校で身につけた 基礎力の元に中学校で固める力	儿-儿を守る力 仲間(学級・班)を大切に する力	先生と生徒の関係 を踏まえる力		